

卒業論文の要旨

論文題目	日本におけるハラール産業の現状と課題 ー滞日ムスリム・食品・観光を中心にー
氏名	中野瑞紀
メジャー	アジア地域研究
<p>(要旨)</p> <p>近年日本の食品産業や、観光産業等において、「ハラール」への取り組みが盛んになってきている。特に食の分野に関しては、日本の伝統食品を、イスラーム圏へ輸出するといった動きと関連し、ハラールに対応した醤油や味噌が製造されてようになってきている。また、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、今後日本を訪れるムスリム観光客の増加が見込まれることから、観光産業でも、ムスリム観光客をもてなすためのガイドブックが作成されたり、ハラールに対応したお土産を製造・販売するといったことがなされている。</p> <p>本論文では、日本におけるハラール産業に着目し、民官によるハラールへの取り組みがどのようになされているのかを具体例を示し、紹介した。また日本で暮らす滞日ムスリムにおけるハラール産業ビジネスにも注目し、日本のハラール産業の現状や、今後の課題について考察した。</p> <p>まず第1章では、日本とイスラームの出会いから、戦後までの日本におけるイスラームの歴史について、概要をまとめた。</p> <p>次の第2章では、滞日ムスリムの歴史や職業について述べ、新宿区にある「イスラーム横丁」について取り上げた。</p> <p>また第3章では、ハラール認証制度のはじまりや、日本におけるハラール認証の取得方法について論じ、ハラール認証の有効性や、問題点について考察した。</p> <p>さらに第4章では、日本のハラール産業への取り組みについて、食品面と観光面を中心に具体例を紹介した。</p> <p>最後の第5章では、日本政府や地方自治体によるハラール産業への取り組みについて注目し、政府や各自自治体が作成したガイドを参照し、ムスリム観光客をもてなすための対応がどのようになされているのかを論じた。</p> <p>日本においてハラール産業が盛んになり、様々な分野でハラール認証が取得されるなど、ハラールやムスリムへの関心が高まってきている。日本のハラール産業はここ数年で大きく発展しており、さらに規模が拡大していくことが予想される。しかし日本のハラール認証制度には統一した決まりがないといった問題などもあるため、今後認証制度の統一が必要になると筆者は考えている。</p>	
<p>(指導教員の推薦のコメント)</p> <p>日本におけるハラール産業は、近年、急速に成長してきている経済分野である。そのハラール産業について、まず日本におけるイスラームの歴史を跡づけ、また滞日ムスリムの生活状況にも触れつつ、単にハラール食品のみならず、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで視野に入れて、ムスリムを対象としたハラール観光にも目配りしている点で新鮮味があり、優秀論文として評価し、推薦させて頂く次第である。</p>	